

日付	内容
平成 28 年 5 月	協議体研究会（民生委員・NPO・老人ホーム・デイサービス・リハビリ職・包括・社協・行政） 平行して一色小学校区再生協議会福祉部会
平成 28 年 8 月	勉強会（一色小学校区と共催） さわやか福祉財団 永瀬 純治氏
平成 29 年 1 月	勉強会（住民組織・商業者・介護事業所等） さわやか福祉財団 土屋 幸己氏
平成 29 年 4 月	二宮町生活支援体制整備事業（介護保険法地域支援事業） スタート お互いさま推進協議会（第 1 層協議体）と一色小学校区福祉協議会 （第 2 層協議体） 立ち上げ
平成 29 年 5 月	生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置
平成 29 年 12 月	「生活支援サービスファイル」が完成。通いの場（児童館等）に配架
平成 30 年 3 月	地域の協議体の立ち上げに向けたワークショップ（山西地区住民組織・商業者・介護事業所等） 「地域特性を活かした地域づくり」 大磯町地域包括支援センター 木内健太郎氏、岩本明子氏
平成 30 年 3 月	生活支援サービス担い手養成研修の開催（住民向け） よこはま地域福祉研究センター 佐塚 玲子氏、吉川 典子氏
平成 30 年 4 月	「市町村介護予防・生活支援サービス情報提供システム」への掲載（社会資源データベース）
平成 30 年 7 月	勉強会（住民・介護事業所等） 地域支え合いセミナー 医療経済研究・社会保険福祉協会 服部 真治氏
平成 30 年 9 月	「わがまち・にのみや」生活支援コーディネーターたより 第 1 号発行
平成 30 年 10 月	山西小学校区協議体（第 2 層協議体） 動き出し
平成 30 年 12 月	二宮小学校区協議体（第 2 層協議体） 動き出し
平成 30 年 12 月	山西小学校区協議体の名称が決定「たんぽぽささえたい」
平成 31 年 4 月	一色小学校区が再生協議会から独立し名称が決定「いちふく」 コミュニティダイニングにて「いっぷく茶屋」を開始
令和元年 5 月	二宮小学校区協議体の名称が決定「クローバーの笑・和・輪」
令和元年 7 月	町内ベンチ調査の実施
令和元年 12 月	神奈川県社協 アドバイザー派遣事業の活用 協議体のサポート 東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 山本美香教授
令和元年 12 月	一色小学校区地域再生協議会 移動(外出)支援検討部会 勉強会 全国移動サービスネットワーク副理事長 河崎民子氏
令和 2 年 2 月	(福)一燈会 メゾン二宮の車両を活用した「買い物ツアー」を実施

これまでの主な生活支援体制整備事業の実施状況について

令和2年4月	「富士見が丘1丁目 ほほえみの会」が発足
令和2年9月	「生活支援サービスファイル簡易版」を作成
令和3年10月	「地域の協議体とは」を作成
令和3年11月	「令和3年度二宮町認定ドライバー養成講座」を開催 11名の受講
令和4年3月	「地域福祉課題共有セミナー」の開催 田園調布学園大学人間福祉学部社会福祉学科 和 秀俊 准教授
令和4年11月	「介護予防ボランティア養成講座」の開催（地域の中で自分でできること）
令和4年12月	「令和4年度二宮町認定ドライバー養成講座」を開催 11名の受講
令和5年2月	「二宮町みまもりガイド」が完成
令和5年4月	居宅介護支援事業所へ「ゴミ出し困難者の実態把握調査」の実施
令和5年7月～	令和5年度 生活支援コーディネーター研修等事業 「地域支援プログラム」（県社協）にエントリー アドバイザー：駒澤大学文学部社会学科 川上 富雄教授 2層協議体に向け、「地域防災・地域福祉と住民活動」をテーマに講演
令和6年2月	「令和5年度二宮町認定ドライバー養成講座」を開催 12名の受講